

神奈川)減らぬなら、食べてしまえ アメリカザリガニ

小北清人 2016年10月22日03時00分



昨年の「自然と親しむ会」で食されたアメリカザリガニ
＝実行委事務局提供



繁殖力が強く、川にすむ在来の生き物を食べて生態系を脅かすアメリカザリガニ。ならばいっそ、食べてしまつて駆除しよう、とのイベントが30日、藤沢市大庭の引地川親水公園一帯である。

市内にある企業の有志らでつくる「藤沢自然と親しむ会」委員会（岩田淳委員長）が開き、日大生物資源科学部なども協力する。引地川などで目立つアメリカザリガニの多さに、「欧米などでは普通に食べている。食べる習慣をつければ除去に役立つのでは」と昨年11月の「自然と親しむ会」イベントで初めて企画した。今年で2回目。

当日は、公園の池でザリガニを釣るか、あまり釣れない場合でも楽しめるよう、事前に捕まえておいたザリガニを入れた水槽で獲るようにする。

ただし、食べるのは実行委があらかじめ泥抜きをするなどして用意したアメリカザリガニ。昨年はゆでて食べたが、「思ったほど臭みがなく、予想よりおいしかった」とスタッフの女性。今年は空揚げにして食べる。

そのほか、参加者が引地川にひざまで入って網で捕った魚やゲンゴロウなどを水槽に分類、日大生物資源科学部の専門家らが生態系をわかりやすく説明する体験学習などもある。ザリガニ以外の捕獲した生き物は川に戻すという。

岩田さんは「昨年は、小さい頃熱中したザリガニ捕りを体験させたいと子ども連れで来た人など、小雨の中、約350人も集まった。今年も多くの人に自然に触れて欲しい」。午前9時半に開会式があり、参加者には軽食が出る。無料。問い合わせは実行委事務局の「いわた環境計画」（0466・82・2200）。（小北清人）